

明

けましておめでとうございます。

皆さまには清々しい初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より市政に対し温かいご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、大村市制施行70周年の節目の年として、記念式典の挙行をはじめ、おむらんちゃんの誕生日や心に残る講演会など、多くの記念事業を行いました。また、大村工業高校の男子バレーボール部と男子ソフトボール部による日本一、7月には米国サンカルロス市との姉妹都市提携、11月には「コレモおおむら」のオープンおよび顧問会議公開講座の開催など、多くの成果があった年でした。

今年は、3月に大村ポートレース場のスタンド建て替え工事に着手します。お客様に満足していただけるような、人と環境に優しい施設として、2年後の平成27年3月完成の見込みです。

そして、平成26年の「長崎がんばらんば国体」を控え、バスケットボールや銃剣道、卓球の競技別リハール大会が本市で開催されます。さらに、全国高等学校総合文化祭長崎大会の二環として、全国の有名校によるマーチングが行われます。

新幹線をいかしたまちづくりにつぎましては、市民の皆さまの声を拝聴しながら基本計画の策定を進め、大村駅前再開発と(仮称)新大村駅の2極の活性化に大胆に取り組んでまいります。

これからも、「市民が主役」、「対話の市政」を基本に、「福祉のまち 日本一」、そして「日本一住みたくなるまち」を目指して全力を尽くしてまいります。本年も変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとりまして輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



平成25年元旦
大村市長

松本 崇

平成25年 迎春

新年のごあいさつ

新

年明けましておめでとうございます。皆さまには清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、旧年中は市議会に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、一年を振り返りますと、国内では「昨年」に発生した東日本大震災により深刻な打撃を受けた我が国の経済活動は、その厳しい状況を引きずつたまま、円高とデフレによる経済の悪循環からぬけ出せずにいます。このため、国・地方をあげて経済対策に取り組んでまいりました。

一方、大村市においては、九州新幹線西九州ルートの特長までの延伸認可決定に伴い保守基地から車両基地への昇格や高速道路木場インターチェンジの設置許可など任みよいまちづくりに向けた事業が着実に進んでまいりました。

市議会といたしましても、議会基本条例の理念に基づき、今後も議会の活性化に取り組むとともに、市民の皆さまの声を的確に市政に反映させることが、私ども市議会の最大の責務であると考えております。

そのためには、「市民と議会をつどい」の中で、市民の皆さまのご意見などを真摯にお尋ねをして、市政運営に活かすように努めていく所存であります。

依然として厳しい生活環境ではありますが、市民の皆さまのさらなるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。また、新たな一年が皆さまにとって輝かしいものでありますよう祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



平成25年元旦
大村市議会議長 廣瀬政和